

小學修身訓

波號

卷上

12

257
P
149

78

東新

大吹本教育會書館			
第	二	第	二
冊	二七九	架	四函

17

K110.1
108
1

K110.1

108

明治十三年四月

小學修身訓

文部省編輯局印行

小學修身訓凡例

一 修身學ノ書ハ宜シク生徒ヲシテ熟讀諳記セシムベシ。其意味深遠ニシテ幼年生徒ノ理會スルコト能ハザルノ語アルモ常ニ之ヲ記憶シテ忘レザル時ハ年長ブルニ隨ヒ漸々其意味ヲ了解スルコトヲ得一生之ヲ用フルモ盡スコト能ハザル者アラシ。

一 本書ハ全編盡古語ヲ以テ組織シ。一モ編者ノ説ヲ其間ニ雜フルコトナシ。

一 小學教師タル者ハ此書ニ載スル所ノ格言ヲ

以テ本文トシ。或ハ其義ヲ敷衍シ。或ハ故事ヲ引用シテ之ヲ講解シ。以テ生徒ノ心ヲ感發開悟スルコトアラシメンヲ要ス。

一童子ヲ教フルハ。嘉言善行並ビ教フルヲ宜シトス。此書ノ如キモ。初ハ善行ヲ記スルノ意アリシガ。紙數ノ増加シテ課業ニ便ナラザランコトヲ恐レテ之ヲ止メ。善行ノ如キハ一ニ之ヲ教師ノ口授ニ委托ス。

一此書ヲ授クルニハ。必^スシモ本文ノ順序ニ拘ハルコトヲ須ヒズ。或ハ修徳ヲ先ニシテ生業ヲ後

放

ニシ。家倫ヲ先ニシテ處事ヲ後ニスルガ如キモ亦不可ナルコトナシ。

一編中專^ラ女子ノミヲ教フルノ語アリ。此ノ如キ類ハ。男子ノ爲^ニ。ニハ之ヲ略スルモ可ナリ。

明治十二年十一月

西村茂樹識

波

小學修身訓目錄

卷上

第一 學問

第二 生業

第三 立志

第四 修德

卷下

第五 養智

第六 處事

第七 家倫

第八 交際

波

小學修身訓上

西村茂樹 選錄

第一 學問

○天ノ命ヲ性ト謂ヒ。性ニ率フヲ道ト謂ヒ。道ヲ修ムルヲ教ト謂フ。中庸
○玉琢カザレバ器ヲ成サズ。人學バザレバ道ヲ知ラズ。禮記
○嘉肴アリト雖氏。食ハザレバ其旨キヲ知ラ

ズ。至道アリト雖^レ凡^レ。學バザレバ其善キコヲ知ラズ。同上

○吾嘗テ終日食ハズ終夜寢子ズレテ以テ思ヘドモ益ナシ。學ブニ如カザルナリ。論語

○人ノ道アルヤ。飽食暖衣逸居シテ教ナキハ禽獸ニ近シ。聖人之ヲ憂フルコアリテ。契ラシテ司徒タラシメ。教ユルニ人倫ヲ以テス。父子親アリ。君臣義アリ。夫婦別アリ。長幼序アリ。朋友信アリ。孟子

○君子ノ學ハ必^ス日ニ新ナリ。日ニ新ナルハ日ニ

故

進ムナリ。日ニ進マザル者ハ。必^ス日ニ退ク。未^ダ進マズレテ退カザル者ハアラス。程子

○百工ノ器ヲ治ムルハ。必^ス用アルヲ貴ブ。器ニシテ用エベカラザレバ。工ハ爲ササルナリ。學ンデ用エル所ナクンバ。學將ニ何ヲ爲サントスルヤ。同上

○數十卷ノ書ヲ讀メバ。便^チ自^ラ高大ニシ。長者ヲ凌忽シ。同列ヲ輕慢スル者アリ。此ノ如キハ。學ヲ以テ益ヲ求メ。今反ツテ自^ラ損ス。學ブコナキニハ如カザルナリ。顏氏家訓

○盛年重子テ來ラズ。一日再晨ナリ難シ。時ニ及
ンデ當ニ勉勵スベシ。歲月ハ人ヲ待タズ。陶淵明ノ詩
○學問に有用の學有り。無用の學有り。有用の學
とい。學問をまゐる。我ガため人の爲益とあるを
いふ。故に學問の道ハ。有用の學を爲さべし。無用
の學を爲さべし。大和俗訓

○世の人多ク藝を好ミテ學問を好まズ。藝ハ譬
へば木の枝葉あり。學問ハ譬へば木の根本あり。
根本を務めども枝葉を務め。本を棄てて末
專あるハ僻事あり。道學ふけきハ藝多しとて

根本立たず。君子と云ふべし。又枝藝ふけきハ
事ニ通ぜざりて其徳の助あり。野人と謂ふべし。
同上

○無益ノ事ノミヲ知リテ。有益ナル事ヲ知ラザ
ルノ人ハ。是ヲ無知ノ人ト稱スベシ。群多遜
○才智ノミヲ養ヒ長ズルハ。却テ人ノ害トナ
ルヲナリ。故ニ凡百學問ノ根本ハ。端正ナル心志
ノ田地ニ挿ミ。コレヲ修養スベシ。北土達源
○女子ノ教育ハ。或ハ浮華ニ流シ。或ハ驕恣ニ陷
ルヲアリ。然ルハ拙工ノ玉ヲ磨クガ如ク。其光

ヲ發セズシテ。反ツテ其質ヲ損フモノナリ。

亞地

○才ハ天ヨリ受クル者ナレドモ。是ヲ成全スルハ自修ノ功ニ賴ルヲナレバ。天才ヲ恃マズシテ。人カヲ盡スベキナリ。西國立志編

○性質愚鈍ナリト雖。恒久ノ心ヲ以テ學習ノ功ヲ積マバ。必^ス聰明英邁ノ人トナルベシ。穩固ナル人ハ。其初ハ遲緩ナルガ如シト雖。後遂ニ勝ヲ獲ル者ナリ。同上

○讀書學問スル所以ハ。知識ヲ博クシ德行ヲ修メ。仁善ノ心ヲ益シ。剛毅ノカヲ添ヘ。有用ノ才ヲ

放

生ジ。各自已ノ擇ベル高尚ノ志願ヲ遂ゲ。民生ノ福祉ヲ増シ。邦國ノ景象ヲ善クスルニ在リ。同上
○人ハ幼少ヨリ善キ習慣ニ長ゼシムルヲ要スベシ。蓋少年ノ中ニ習慣トナレルハ。終身永續シテ變ゼズ。譬ヘバ木ノ皮ニ文字ヲ刺ムガ如シ。其木ノ長ズルニ隨ヒ。文字モ共ニ大ニナルナリ。同上

○善書ヲ讀ムハ。人タル者ノ職分ヲ勵マシ。不善ノ書ヲ讀ムハ。人ノ志氣ヲ損耗シ。人ヲ懦弱ニナシテ。是非善惡ヲ分別スルノ精神ヲ錯亂セ

シム。故ニ不善ノ書ヲ讀ム者ハ自其身ヲ害フト
謂フベシ。勸善訓蒙

波

第二 生業

○天地の間ニ生るゝおごの人。貴賤貧富を論ず
ることある。人々我に當りたる所作有り。是我が生
涯よつきて定まりたる道理ある故に。生理と名
づく。人の品を分ちていとも。農人の耕作を勤め
て公の年貢をかくとも。職人の家藝を精くとも
所傳の習を失ふも。商人の賣買を營むも。非分の
利を求めん。都て此三の民共に各志を高ぶらん
も。我に當りたる職分を勤めば。自ら我に當り
たる衣食有りて。一生安穩に暮るべし。其外

定まりたる産業あるを。負擔日傭あるを。世を渡る者あり。鄙まき諺も。天より食物ある人を生ぜざるべし。是等の人も怠る間あるかせぎだよせば。我に當りたる衣食あるべし。六諭衍義大意

○怠惰者流。蠅蟻ヲ觀テ其智ニ法トラザル。彼長者ノ命ヲ俟ツナクシテ。夏時ニ糧ヲ備ヘ。穡時ニ物ヲ斂ム。惟爾懈惰ニシテ寢スルヲ思ヘバ。何ノ時カ寤ムルヲ得ン。瑣羅門ノ箴言
○自尊大ニスルヲ好ム者ハ飲食匱乏ス。卑キ

ニ居テ操作ヲ勤ムル者ニ如カズ。勤ムル者ハ人ヲ治メ。怠ル者ハ人ニ治メラル。同上

○民勞スレバ思フ。思ヘバ善心生ズ。逸スレバ淫ス。淫スレバ善ヲ忘ル。善ヲ忘ルレバ惡心生ズ。沃土ノ民ノ材アラザルハ淫スレバナリ。瘠土ノ民ノ義ニ嚮ハザルヲナキハ勞スレバナリ。魯敬姜
○前半生ノ勤勞ハ。後半生ノ生活ヲ安クス。西國言

○凡百ノ學問藝術。盡皆用アラザル者ナク。士農工商互ニ相資益シテ。邦國ノ利トナルヲナレバ。

皆尊ビ重ンズベカラザル者ナシ。此ヲ是トシ彼
ヲ非トスベカラズ。我ヲ崇ビ彼ヲ卑シムベカラ
ズ。蓋天地ノ間ニ人ト生レタランモノハ。必ス天ヨ
リ分配セラレタル職分アリ。而シテ其職分ヲ盡
ス爲ニ。天必各其才能ヲ以テ之ニ賦與セラル、
コナリ。故ニ何ノ事業ヲ論ゼズ。人各其職分ヲ盡
スハ。即天ニ進ム所以ノ道ナリ。亞爾惱德
○凡職業ハ。心ヲ勞スルト手ヲ勞スルトヲ論ゼ
ズ。コレヲ以テ正經ノ利ヲ得ルコトハ。真ニ尊ブベ
キコナリ。手指ハ汚穢ニ染ムトモ。心ノ純潔ナル

ニ害ナシ。物質ノ穢惡ナルハ人ヲ汚染セズ。言行
ノ穢惡ナルコソ。人ヲ醜穢ニナスベケレ。西國立志編
○凡、人衰老ノ年。安樂ヲ享ケンガ爲。自主自立ヲ
失ハザランガ爲、ニ金錢ヲ貯ヘ。及他人ヲ存恤ス
ルガ爲、ニ儉省ヲ務ムルハ。端正忠孝ノ事ナリ。モ
レ此ノ如キ爲、ニスルニ非ズレテ。徒ニ金錢ヲ蓄
積スルハ。其心褊小ニシテ。其所行ヲ吝嗇ト名ケ
テ賤シムベキコナリ。サレバ智者ハ固ヨリ節儉
ヲ務ムト雖。然レ氏自著意シテ。此吝嗇ヲ以テ
深戒トナセリ。同上

○凡人當然ノ道ヲ行キ。正經ノ業ヲ勉ムルハ。固ヨリ種類ノ別ナク。遭際ノ異ナク。盡自己ノ品行ヲ端フ。體面ヲ存スルヲ得ベキナリ。或ハ土地ヲ耕シ。或ハ器具ヲ造リ。或ハ布匹ヲ織リ。或ハ產物ヲ賣ル。是等ノ業ヲ做ス者。皆其所行ニ由リ。自己ノ尊榮貴重ナルモノヲ全フ。得ラルベシ。同上

○貿易賣買ノ事ハ。其他ノ職務ニ比スレバ。最メノ品行ヲ試ムル者ナリ。端正ナルト邪曲ナルト。公平ナルト自私スルト。誠實ナルト偽詐ナルト

波

ハ。是ニ由リテ明白ニ呈露セリ。同上

○節約ト勞動トハ。人ニ満足ヲ得セシメ。又往々富饒ヲ得セシムルノ源ナリ。浪費ト遊惰トハ。鉅萬ノ富ヲ有スル者ヲモ。頓ニ窮乏ニ至ラシムルノ源ナリ。勸善訓蒙

○人其職業ヲ行ヒテ其意ヲ遂ゲ。畢生間ノ幸福ヲ受用セント欲スルニハ。己ノ家産。己ノ智力。己ノ性質ニ最適シタル職業ヲ擇ブベシ。同上

○古語云。人生ハ勤に在リ。勤むまじバ。價しうらむといへり。勤ハ利の本あり。勤めて自ら得るハ真

の利あり利を専貪がまば必害あり。大和俗訓

○不仁より各畜あまば。財多ともちくも人を救ひ恵むとあし。各畜あらざる人も。仁愛の心を用ひさまば。其施あくとつて反つて無益の事に財を費す。同上

○借の一字は家を破るの基あり。此一字を堅と禁まざし。財祿の多少大身小身も随つて。其分限の内も。不足あまやうに財を用ゆべし。乏きを堪へと人に借るづつらば。分限の外も用ひ過ごせば。必ず財足らばと人に借る。財を借まば年

故

々も利足を出し。其利足に又利加ふ。後も積もる。其負目夥しとあり。必を家産を破る。初學訓

○勉強シテ榮譽ヲ致サントスルハ高尚ノ競ナリ。若他人ノ衰頽ニ乗ジテ。已ヲ富貴ニセント欲スルハ覬覦心ナリ。其社會ヲ毒スルハ。懶惰ニ勝ル。一等ナリ。麻順

○富ト自立トハ。必シモ鉅萬ノ財貨ヲ有スルノ謂ニ非ズ。人々各其分ニ随ヒ。完足スベキ資産ヲ有スルニ在リ。少年輩能ク其身ニ節儉ノ慣習ヲ爲シ得ルハ。生理ヲ闕キ。人ヲ依頼スルノ卑屈

心ヲ生スルヲナク。又産業ヲ倒シ。心思ヲ損ジ。志望ヲ空フスルニ至ルノ憂ナカルベシ。修身學

○人ハ忠實正經ナル生活ヲ爲スヲ要ス。是ヲ做サンニハ。自治ムルノ勇アリ。自其私欲ニ克ツノ徳アルベシ。然ルルハ衣服飲食家室等ニ就テ。其願欲其節儉。自其宜キヲ得ルニ近カルベシ。然ラザレバ其生ヲ治ムルノ情狀ハ。已ガ私欲ニ徇ヒ。之ガ奴隸トナルヲ免カレズレテ。自忠實ナラズ正經ナラザル活計ヲ爲スニ至ルベシ。西洋品行論

○君子ハ財貨ヲ善用センガ爲ニ之ヲ珍重スト

雖氏。本源ノ清潔ナルニ非ザレバ。之ヲ受ケザルナリ。修身鑑

○富貴の家ニ生る人ハ。曾テ艱難を経ず。常に多クノ所從にかしづりき。美服身にまとい。厚味口ニあまき。いつまでも替るまじとこそ思ふらめど。一旦時移り勢去ぬまじ。過ぎまじ富貴ハ一宵の夢とありぬ。是まを飽暖にとらして。何の材藝もあらず。世話もさへ疎けまじ。漸々落ぶまで。庶民に下るも。昔より其例あまじ。六諭衍義大意

○又身もど輕き人の遊樂を好むこそ。一々わら

たてけき。或ハ游女ニ戯ぶれ。或ハ博奕を好ミ。酒
よむたり。色ニ溺ミ。晝夜家業を棄テ。浮ラレ遊
ぶむどに。果ハ家財も盡ミテ。朝夕の營ももまぐ
きやうあけき。思の外ニ惡事を巧ミ出シ。災
難に逢ふもあらず。同上

○常ニ勞作シテ已マズ。職業ノ繁多ナルヲ嫌ハ
ズ。世上ノ務ニ任ジ。他人ト交通シ。實事ニ砥礪ス
ルハ。人生ノ主義ナリ。人苟此主義ニ本ヅキ。事務
ヲ勉ムレバ。剛猛ノ性質ヲ成シ。極美ナル熟果ヲ
結ブ。ヲ得ベシ。品行論

○利ハ天地より生ズ。天下の人ニ與ヘ養ヒ給
ふ利あれ。天下の公物あり。され一人の私もの
にすべからず。人と共ニ同じと利を得ま。人々
各其所を得テ害多シ。身に私シ。我一人利を得
んとす。争出來テ反ツテ我身の害とある。義
を行ヒ。自ら來ル利ハ。真の利あり。我益とある。
貪ミ求む。ハ真の利もあら。必も身の禍とな
る。是利を求む。ハ害を求むなり。
和

訓俗

第三 立志

○志立タザレバ。天下成ルベキノ事ナシ。百工技藝ト雖_レ氏。未_レ志ニ本ヅカザル者アラズ。志立タザレバ。舵ナキノ舟。銜ナキノ馬ノ如シ。漂蕩奔逸。何ノ底ル所アラシヤ。王陽明

○陽氣ノ發スル所ハ金石モ亦透ル。精神一タビ到ラバ。何事カ成ラザラン。朱子

○譬ヘバ山ヲ爲ルガ如シ。未_レ成ラザル一簣ニシテ止ムハ吾止ムナリ。譬ヘバ地ヲ平カニスルガ如シ。一簣ヲ覆フト雖_レ氏。進ムハ吾往クナリ。語論

○仁者ハ憂ヘズ。智者ハ惑ハズ。勇者ハ懼レズ。上
○大人ト小人トノ別ハ。特ニ剛毅ト剛毅ナラザ
ルトノ別ノミ。人一タビ志ヲ定メバ。其後或ハ死
スベシ。或ハ成就スベシ。決シテ中廢スベカラズ。
勃古斯敦

○世人富トカトノ二者ヲ能ク理會スル者少シ。
故ニ富ヲ以テカヨリ重キモノト思ヘリ。其實ハ
然ラズ。自己ノ力ニ依頼シ。自儉節ヲ守ル。此二者
實ニ人ヲレテ自己ノ井水ヲ飲ミ。自己ノ麴カ已ヲ
喫セシメ。人ヲレテ職事ヲ學習シ。及其當ニ爲ス

ベキ善事ヲ行ヒ。遂ゲシムルナリ。勞爾德倍根

○若大石ノ道路ニ横ハルアレバ。懦者ハ之ヲ
視テ行路ノ障碍ト爲シ。勇者ハ之ヲ視テ進歩ノ
登級ト爲ス。加來爾

○困難愈シケレバ。愈多ク勞苦ヲ爲スベク。危
險愈シケレバ。愈多ク勇氣ヲ顯ハスベシ。那比

○天ノ將ニ大任ヲ是人ニ降サントスルヤ。必先
其心志ヲ苦シメ。其筋骨ヲ勞シ。其體膚ヲ餓ヤシ。
其身ヲ空乏ニシ。行其爲ス所ニ拂亂スルハ。心ヲ
動カシ性ヲ忍ビ。其能クセザル所ヲ曾益スル所

以ナリ。人恆ニ過ツテ後ニ能ク改メ。心ニ困レミ。
慮ニ衡^タハリテ後ニ作り。色ニ徴^シ聲ニ發^シテ後
ニ喻ル。孟子

○學ヲ好ムハ知ニ近シ。カメ行フハ仁ニ近シ。恥
ヲ知ルハ勇ニ近シ。中庸

○人一タビレテ之ヲ能クスレバ。已之ヲ百タビ
ス。人十タビレテ之ヲ能クスレバ。已之ヲ千タビ
ス。果シテ此道ヲ能クスレバ。愚ト雖^モ氏必明カニ。
柔ト雖^モ氏必強シ。同上

○晋ノ陶侃常ニ人ニ語ツテ曰ク。大禹ハ聖人ナ

ルニ乃^チ寸陰ヲ惜ム。衆人ニ至ツテハ。當^サ二分陰ヲ
惜ムベシ。豈逸遊荒醉スベケン。生キテ時ニ益ナ
ク。死シテ後ニ聞ユル^ナナキハ。是自^ラ棄ツルナリ。
○英國ノ掃^{サウ}謝^セ十九歳ノ時。此語ヲ書シテ曰ク。嗚
呼十九年ナル哉。吾生ノ四分ノ一ハ切^カニ過ギタ
リ。余未^ダ社會上ニ於テ能ク役ヲ爲ス^コアル能ハ
ズ。野人一日二錢ニシテ。烏鳥ヲ恐嚇スルモ。我ニ
比スレバ有用ナル人ナリ。彼ノ貯^ホフル麪^コ包ヲ我
ハ懶惰ニシテ坐食セリ。

○失敗ノ事ハ。真正ノ勉強スル人ノ爲ニハ極善

ノ教訓ト爲ル。立志編

○安逸驕侈ニ生長スル人ハ艱難ノ事ト爭賽スルヲ能ハズ。人生ニ缺クベカラザル奮勉剛猛ノ力ヲ出スヲ能ハズ。故ニ貧苦ニ逢ハザルハ人ノ不幸ナリ。蓋安佚ト才徳トハ兩立セザル者ナリ。人往々已ノ才徳ヲ貶シテ安佚ヲ買フ者アリ。然レ正直誠實ナル人ハ安佚驕侈ト戰ヒテ自己ノ勢力ヲ生シ。自己ニ信仗シテ遂ニ凱勝ヲ奏スルヲナリ。同上

○窮困ハ創造ノ母ナリ。故ニ古ヨリ順便ノ地位

ニ居ル人ヨリハ。窮困ノ人却テ能ク大事ヲ成就スルナリ。同上

○凡人事業ヲ成就スルニハ。剛毅ナル心志ノ力ヲ以テ基礎ト爲ス。剛毅ノ心ハ穎敏ノ才ニ比スレバ。其人ヲ成就スルヲ多分ニ居ル。同上

○人各自志ヲ立テ、是非ヲ擇ビ、趨向ヲ定ムベシ。彼川上ニ漾フ葉ノ方向。偏ニ波ニ任スガ如クナルベカラズ。必水ニ涸グ者ノ。自己ノ力ヲ出シテ善ク波浪ヲ拍チ。吾意ノ向フ所ニ進ミ行クガ如クナルベシ。同上

○少年ノ人世途ヲ行クニ誘惑ノ者兩旁ニ並ビ列ヲ成シテ立テリ。其中ヲ通行スルナレバ惡ニ誘カレザルヤウニ常ニ心ヲ注グベキナリ。一タビ之ニ從フ時ハ遂ニ必下流ニ淪没スベシ。故ニ誘惑ノ事其前ニ至ラバ商量ヲ待タズ。顧慮ヲ費サズ。一刀兩斷。否ト云ヘル一字ヲ以テ之ニ答フベシ。同上

○朱子滄洲ノ精舍ニテ學者ヲ諭シテ曰ク。書記セザレバ熟讀スレバ記スベシ。義精カラザレバ細思スレバ精シカルベシ。惟志ノ立タザルアル

ハ。真ニ是カラ著クル處ナシ。只而今利祿ヲ貪リテ道義ヲ貪ラズ。貴人トナランコトヲ要シテ。好人トナランコトヲ要セザルガ如キハ。皆是志立タザルノ病ナリ。直ニ反復思量シ。病痛ノ起ル處ヲ究見シ。勇猛奮躍。復此等ノ人トナラザルベシ。
○凡人とありて。君の爲親の爲助にもあらざ。世間の用を爲さざ。天地の道に少しの補ある。人を憐む徳もあらず。人を救ふ功もあらず。天地の物を損ひ費もあらず。禽獸草木の民用を助くるにもあらざ。古人いへり。我輩の世に在ること此

の如し。自恥づべし。天道畏るべし。初學訓

○人苟堅定ノ志意アリ。高尚ナル想願アリテ。職分ノ道途ニ入リ。勇毅ナル行爲ヲ顯サバ。其品行ハ極高ナル峯頂ニ達スルニ庶幾カルベし。品行論
○富ト貴トハ是人ノ欲スル所ナリ。其道ヲ以テセズレテ之ヲ得レバ去ラザルナリ。論語

○志士仁人ハ。生ヲ求メテ以テ仁ヲ害スルコトナク。身ヲ殺シテ以テ仁ヲ成スコトアリ。同上

○道近シト雖_レ凡_レ。行カザレバ至ラズ。事小ナリト雖_レ凡_レ。爲サレバ成ラズ。韓詩外傳

○古ヨリ今ニ至ルマデ。非常ノ功績ヲ成スノ人ヲ觀ルニ。其天賦ノ才能。或ハ中等ニ過ギザレドモ。盡_レ心思氣力ノ強毅ナル人ニ非ルハナシ。又此世界ヲ動カシ。最勢力アリシ人ハ。英才ノ人ニ非ズ。深信確證スル所アツテ。其事業ニ從事シ。器量宏遠。志向堅定ニシテ。又阻遏スベカラザルノ氣カアル人ナリ。品行論

○婦人ハ思慮ナクシテ。獨り賤工ニ役スルモノ

ニ非ズ。又特ニ男子ノ逸樂ニ供スル美貌ノ飾物
ニ非ズ。蓋婦人モ男子ト同ジク特別一個ニ成リ
立タル者ナリ。同上

○婦人ハ一生ノ間其莊敬ナル職任ヲ盡サンニ
ハ。才智ヲ養ヒ成セル頭腦ト。他人ヲ愛憐恕察ス
ル心腸トヲ要ス。婦人ノ此世ニ差遣セラル、極
高ノ任ハ。當世ニ流行スルガ如キ空ク光陰ヲ費
シ。末節ナル技藝ヲ學ビ成ス。トニ非ズ。同上

○婦人ハ絶大ノ著書ヲ筆セズ。算法ヲ創造セズ。
千里鏡ヲ發明セズ。蒸氣機關ヲ製出セス。然レ凡

此等ヨリ更ニ大ニシテ善ナル者ヲ成就シタリ。
蓋卓行善徳アル男子女子ヲ。其膝下ニ於テ薰陶
養成スル。豈器械創造ヨリ大ナラズヤ。是豈世
界上最上絶好ナル產物ニアラズヤ。約瑟麥斯多勒

第四 修德

○天子ヨリ庶人ニ至ルマデ壹是ニ皆身ヲ修ムルヲ以テ本ト爲ス。大學

○君子ハ本ヲ務ム。本立テ道生ス。孝弟ハ其レ仁ヲ爲スノ本與。論語

○子張行ハル、トテ問フ。孔子曰ク。言忠信行篤敬ナルキハ。蠻貊ノ邦ト雖モ行ハレシ。言忠信ナラズ行篤敬ナラザルキハ。州里ト雖モ行ハレシヤ。同上

○子貢問フテ曰ク。一言ニシテ終身之ヲ行フベ

キ者アリヤ。孔子曰ク。其怒ナルカ。已ガ欲セザル所ハ人ニ施ス_レ勿カレ。同上

○君子ハ義以テ質ト爲_レ。禮以テ之ヲ行_レ。孫以テ之ヲ出_レ。信以テ之ヲ成ス。君子ナルカナ。同上

○君子ハ諸ヲ已ニ求メ小人ハ諸ヲ人ニ求ム。同上

○君子ニ三戒アリ。少キ時ハ血氣未定マラズ。之ヲ戒ムルハ色ニ在リ。其壯ナルニ及ンデヤ。血氣方ニ剛_レ。之ヲ戒ムルハ闘ニ在リ。其老ユルニ及

ンデヤ。血氣方ニ衰フ。之ヲ戒ムルハ得_ルニ在リ。同上

○矜憫恆ニ懷_レ。真實無妄。此道離ル_レ勿カレ。同上

爾ガ頸ニ懸ケ。爾ガ心ニ銘スルキハ。上帝ト人ト爾ヲ愛セザル_レナク。爾ニ恩寵ヲ賜ハン。瑣言

○道ヲ履ム_レ坦々ナレバ顛趾ヲ致サズ。高卧安寢_レテ畏懼スル所ナシ。同上

○口ニ惡ヲ言フ_レ勿カレ。目ニ邪視スル_レ勿カレ。爾ノ行爲ヲ慎ミ。爾ノ趨向ヲ端クシ。左ニ偏スル_レ勿カレ。右ニ偏スル_レ勿カレ。惡ヲ見レバ即

之ニ遠ザカレ。同上

○謙者ハ智ヲ得。驕者ハ辱ヲ受ク。禍ヲ降スノ日。貨財亦復何_レンノ裨アラシ。死ニ臨ムノ時。仁義以

テ自救フニ足レリ。愚者ハ人ノ短ヲ暴ハシ。智者ハ人ノ惡ヲ隱ス。人ヲ益スル者ハ正ニ以テ已テ益シ。人ヲ損スル者ハ適ニ以テ已テ損ス。財ヲ散ジテ富厚ヲ増ス。アリ。財ヲ惜ミテ貧乏ヲ致ス。アリ。同上

○仁者ハ射ルガ如シ。射ル者ハ已テ正フレテ後ニ發ツ。發ツテ中ラザレバ。已ニ勝ツ者ヲ怨ミズ。諸ヲ已ニ反求スルノミ。孟子

○惻隱ノ心ハ人皆コレアリ。羞惡ノ心ハ人皆コレ有リ。恭敬ノ心ハ人皆コレ有リ。是非ノ心ハ人

皆コレ有リ。惻隱ノ心ハ仁ナリ。羞惡ノ心ハ義ナリ。恭敬ノ心ハ禮ナリ。是非ノ心ハ智ナリ。同上

○後漢ノ楊震ガ舉グル所ノ荊州ノ茂才王密。昌邑ノ令ト爲リ。謁見スル時。金十斤ヲ懷ニシ。以テ震ニ遺ル。震ガ曰ク。故人君ヲ知ルニ。君故人ヲ知ラザルハ何ゾヤ。密ガ曰ク。莫夜知ル者ナシ。震ガ曰ク。天知ル神知ル。我知ル子知ル。何ゾ知ル者ナシト謂フヤ。密愧デテ去ル。

○漢ノ昭烈將ニ終ラントスル時。後主ニ敕シテ曰ク。之ヲ勉メヨ。之ヲ勉メヨ。惡ノ小ナルヲ以テ

之ヲ爲ス_レ勿カレ。善ノ小ナルヲ以テ爲サ_レル_レ勿カレ。

○行爲ノ粗野ナルト。虚飾ニシテ實ナキトヲ比較スル_レハ。虚偽ナランヨリハ。寧_ラ天然素朴ノ真ニ如カズ。縱令温雅ノ風ナシト雖_モ。尚_モ人ノ之ヲ怒スル_レアルベシ。已ガ行爲ヲ虚飾スル_レハ。宛モ燭火ヲ舉ゲテ。已ガ短所ヲ照ラスガ如クニシテ。人必我ヲ目シテ。或ハ無知ト爲スカ。將不誠ト爲スニ過ギザルベシ。駱克

○戰爭シテ敵ニ勝ツハ小捷ナリ。已ガ私欲情欲

ヲ制シテ之ニ勝ツハ大捷ナリ。牝馬伯羅溫

○君子ハ人生毎日ノ小事ニ於テモ。已ヲ棄テ、人ニ譲リ。已ヲ損シテ人ヲ利スルナリ。勞爾德

○凡_レ人ノ人タル所以ノ者ハ禮義ナリ。禮義ノ始メハ容體ヲ正_シ。顔色ヲ齊ヘ辭令ヲ順ニスルニ在リ。禮記

○財ニ臨ンデハ苟得ル_レ母カレ。難ニ臨ンデハ苟免_ル、_レ母カレ。狠ニ勝ヲ求ムル_レ母カレ。分ツニ多キヲ求ムル_レ母カレ。同上

○忠信ヲ主トシ已ニ如カザル者ヲ友トスル_レ

無カレ過ツテハ改ムルニ憚ル_レ勿カレ。論語

○病ハ口ヨリ入り。禍ハ口ヨリ出ヅ。故ニ君子ハ言語ヲ慎ンデ飲食ヲ節ニス。要覽

○宋ノ范純仁。子弟ヲ戒メテ曰ク。人至愚ナリト雖氏。人ヲ責ムルハ明カニ。聰明アリト雖氏。已_レヲ怒スルハ昏_レ。爾ガ曹。但常ニ人ヲ責ムルノ心ヲ以テ已_レヲ責メ。已_レヲ怒スルノ心ヲ以テ人ヲ怒セバ。賢聖ノ地位ニ到ラザル_レヲ患ヘザルナリ。
○謹慎ハ吾等ノ言行ニ位格ヲ與ヘ。其言行ヲ發スルニ。常ニ適當ノ時機ヲ得セシメ。若猝然ノ事

彼

起ル時ハ。吾等ニ指南鍼ヲ授クル者ナリ。西園ノ古言

○驕泰ナル者ハ敗亡之ニ繼ギ。謙遜ナル者ハ尊

榮之ニ被ムル。言フ所ハ必_レ果ヲ結ビ。口ニ出ヅル者ハ必_レ身ニ反ル。箴言

○一粥一飯。當ニ來處ノ易カラザル_レヲ思フベ_レ。半絲半縷。恆ニ物力ノ維艱キ_レヲ念ヘ。朱子

○善ニシテ人ノ見ン_レヲ欲スルハ。是真ノ善ナラズ。惡ニシテ人ノ知ラン_レヲ恐ル_レハ。便是大惡ナリ。同上

○須_レ是慈祥和好ヲ本ト爲スベシ。勇決剛果ノ如

キハ。無カルベカラズト雖^レ氏。然^レ氏之ヲ用エル
ニ處所アリ。同上

○初^ニ犯ス所ノ過失ハ至テ小ナレドモ。是ヲ掩
ハント欲^シテ行フ所ノ惡事ハ。反ツテ大ナリ。塞路
夫^ハ高^ル

○怠惰ハ勉強ノ敵ナリ。浪費ハ節儉ノ敵ナリ。放
逸ハ修養ノ敵ナリ。弗勒明ノ脩身學

○勞動スル人ハ。粗製ノ麪^モ其味甚^ニ美ニシテ。
怠惰驕奢ナル人ハ。珍貴ノ盛饌^モ甚^ニ口ニ甘カラ
ズ。是造物者ノ勞動ヲ賞^シテ。驕奢ヲ罰スルノ明

證ナリ。同上

○人ノ德行ハ。天道ヲ敬畏スルノ心ト。人類ヲ愛
重スルノ心ト。聚マリテ成^レル者ナルニ。此德行
ヲ修ムルノ目的ナクシテ。特ニ才能ヲ重ンズル
ヲ。習フテ風俗ヲ成ス時ハ。人心ノ壞敗。世道ノ衰
退。是ヨリ甚^シキハナシ。立志編

○自^ラ恭敬スルヲハ。人ノ著クル最貴ノ衣服ナリ。
其心思ヲ感移^シテ高尚ナラシムルモノナリ。自^ラ
敬スルノ意義ハ。極メテ高尚ナルモノニテ。飲食
男女ノ欲ヲ以テ。其身ヲ汚穢セズ。諂媚ヲ行ヒ勢

利ヲ慕フガ如キ邪念ヲ以テ其身ヲ玷辱セザル
コトヲ言フナリ。同上

○常に心の内を顧みて、一點の私欲邪念ありては
早と去るべし。私欲といふ名聞を好む。利分を好む。
色を好む。貨を好むの類。并びて耳目口體の好む
所の身も私なる慾をいふ。邪念といふ人を虐たぐ
人との怒り争ひ。我身に誇り。人を侮る。人を猜忌。誹
罵。人よ諂らひ。人を欺き偽るの類をいふ。是皆邪
惡の心あり。若し是等の事露ばつりもあらば。速
に去るべし。又氣質の偏あらば。勝つべし。氣質の

偏といふ。生を付きし片落たる所あるをいふ。氣の
荒まきと躁がしまきと。又柔らきの過ぎる弱まきと。或は
早過ぎたる鈍と。緩まきたるの類。或は生れ付
まき怒多き慾多きの類をいふ。是皆氣質の偏な
り。大和俗訓

○一言妄ふ發すれば。駟馬も追難し。善きとも惡
きとも。皆口より出づ。慎めば過少。あつて恥辱ある
禍なし。故に人の身の慎む。口を慎むを第一の務
とす。言多き口口の過多。人に惡まき禍起る
慎む多と言ふべし。殊に人を譏るは莫大

の惡事あり。戒めて人の非をいふべからず。同上
○人の目の百里の遠きを見ましても其睫を見む。
明鏡といへども其裏を照さば。うを以て人智
ありといへども。我身の誤を知り難し。故に君子
の學に專。我身を顧み。人の諫をまじく用ひ。過を知
りて改むを旨とす。同上

○陰德といふ。善を行ひて人よ知らざらんを求め
ず。只心の内に竊に仁愛を保ち行ふをいふ。凡人
の患を憂ひ。人の歡を喜び。人を憐れ患む。鰥寡
孤獨の便ある人を先よし。人の飢たるを救ひ。凍

えたる人よ衣を與へ。勞れたるを助け。病者を救
ひ。道橋を修理し。人よ害あるを除去し。人よ利益あ
る事をなし。人の中を和らげ。人の善あるを譽め。
人の過を隠し。人の小過を宥し。人の才藝を用ひ
薦め。妄ふ人よ怒らば。人を怒らば。人の怒争ひを
止め。假ふも人を譏らば。人を侮らば。人を奪はば。
人を妨げず。人の善を勧め惡を諫め。禽獸蟲魚を
苦しめば。妄ふ殺さず。草木を妄に切らざる。皆是
陰德あり。凡し陰德は人知らざれども。天道は協ふ
故に。後にいふ。我身の幸とあり。子孫の繁榮を得

るの道理あり。同上

○凡人クル者。我身ヲ以テ情ト欲トニ打任セテ之ヲ制抑スルコナキハ。遂ニハ身體ノ健康ヲ傷リ。精神ノ活動ヲ妨ゲ。品格ト勢威トヲ卑クレ。性命ヲ短縮スルノ凶害ニ罹ル者ナリ。此ノ如キ結果ヲ得ルニ至ルハ。其道遠クシテ。其進行モ至テ徐緩ナレドモ。其應報ハ確然トシテ誤ルコナキ者ナリ。哈恭ノ修身學

○大酒ヲ好ム人ハ。常ニ左ノ結果ヲ得。其一ハ或ハ暴怒ヲ發シ。或ハ放蕩ニ陷リ。以テ自己ノ良心

ヲ損ズ。其二ハ或ハ一時ノ酩酊ニ由リ。或ハ永久ノ昏迷ニ由リ。其身ニ應ゼル職分ヲ務ムルコナハザラレム。其三ハ無益ノ財ヲ費シテ。家計ノ窮迫ヲ招ク。其四ハ一家ノ平安ヲ害ス。其五ハ己ガ性命ヲ短縮ス。是ナリ。彼利ノ修身學

○男女ノ欲ハ。人類ニ闕キ難キ者ナリ。然レモ若クニ蕩溺スルハ。其衣服容貌ハ美ナルガ如シト雖モ。其人物ノ汚穢ナルコハ。泥ヲ負フノ豚ノ如シ。此ノ如キ人ハ。情欲ニ誘惑セラレテ高崇ノ志望ヲ失ヒ。其身ヲ以テ卑劣ノ坎ニ沉ムル者ナ

リ。古賢ノ語ニ曰ク。肉體ノ欲ハ吾身體ヲ害スル
ノミナラズ。吾良心ヲ亡ボサントスルノ讐敵ナ
リ。あつち福均ノ修身學

○貪婪ト云ヘル人欲ハ。其力巨大ニシテ。此欲ノ
盛ニニ發スルハ。其他ノ感覺ハ少シモ心ニ生
スルコナシ。縱令少シク生スルコアルモ。遂ニ貪
欲ノ爲ニ打消サレテ。發暢スルコ能ハズ。故ニ貪
欲ノ人ハ。其性命モ其感覺モ。惟金錢ノ上ニノミ
アリテ。其他ニ及ブコナク。遂ニ其性命ト榮譽ト
ヲ併セテ。金錢ニ徇スルニ至ル者ナリ。布設ノ修
身學

○我身朝夕飲食の俸養ハ輕ク〜身を以て勞動
すべし。奢る酒食の美を好み。懈る身を安逸
よすべからず。奢らば怠らず。此の如くすべし。第
一徳を養ひ。次は身を養ひ。次は財を養ふ。三の益
あり。家道訓

○衣服ハ儉素ヲ飾少と。よの常に〜賤し
らざるをよし。又貧しき人も。務めて潔く。垢つき
穢きものを着用ゆべし。富める人も。美麗を好み。無
用の服多とすべからず。又甚質朴に過ぎず。穢ら
かしく鄙野あるものなし。大和俗訓

○身體ヲ清潔ニナスハ健康ヲ保ツノ一基本ナリ。故ニ之ヲ自己ニ對スル務ノ一トス。飲食ヲ節スルハ物欲ヲ制スル徳ノ一ナリ。若シ之ヲ節スルコトナク。貪飽スル所ハ其健康ヲ害シ。疾病ヲ醸シ。身體ノ機關ヲ損ズルニ至ルベシ。是天ニ背クノ一不徳ナリ。勸善訓蒙

○人其身體ヲ壯健ナラシメントシテ却テ意ヲ用ユルニ過ギ終ニ其體ヲ柔弱ナラシムベカラズ。故ニ常ニ身體ヲ運動使用シテ之ヲ強健ニナシ。疲勞困苦ニ堪ヘシムベシ。同上

○傲慢ナル人アリ。自謂フ余ハ他人ヨリモ才能知識アリテ。他人ハ余ヨリモ愚昧ナリト。汝ハ實ニ傲慢ナル人ノ情態ヲ知ルカ。是氣毬ノ膨脹シテ昇騰セルニ等シク。只其外貌ヲ誇大ニシテ内部ハ實ニ空虚ナリ。余ハ之ニ反シテ謙遜辭讓ナル人ヲ愛ス。此人ハ自卑下シテ他人ヲ賛揚シ。敢テ己ガ事ヲ稱道セズ。其身ヲ戒慎恐懼シテ敢テ人ニ先タズ。其言誠實ニシテ虚飾ナシ。今汝ニ説カン。謙遜ナル人ハ其行事此ノ如ク自卑下スト雖。傲慢ナル人ノ已ノミ有スルト思ヘル才能

知識ハ翻ツテ此謙遜ナル人ニ存セリ。勸善雜誌
○言行ノ信實。行為ノ信實ハ。人ノ品行ニ於テ身
體ノ脊骨アルガ如ク。是ナケレバ立ツコト能ハズ。
立志編

○人ノ斯世ニ在ル。真正ノ權勢ト稱スベキ者ハ
品行ナリ。品行ハ爵位ヲ假ラズレテ自爵位ヲ具
ヘ。財貨ヲ擁セズレテ別ニ產業ヲ有セリ。如何ナ
ル地位ニ居ルトモ。其地位ヲレテ榮光アラシメ。
如何ナル會社ニ入ルトモ。其會社ヲレテ崇高ナ
ラシメ。其大勢力アルコト。貨財ノ及ブベキ所ニ非

ズ。他人ヨリ尊敬セラレテ。之ヲ妬忌スル者ナク
言語ナクレテ他人ヲ感化スルコト。常ニ言語スル
者ニ勝レリ。同上

○凡、人幼年ノ時ハ。常ニ戒メテ生物ヲ殘害苦痛
セシムベカラズ。是他年人類ヲ愛憐スル仁心ヲ
養フガ爲ナリ。萊伯尼子

○人妄ニ樹木穀草等ヲ毀損シ。又蒸餅果實及ビ
其他有益ノ物ヲ徒ニ棄ルハ。是天ノ賜ヲ無益ニ
亡滅スルノ罪アリ。モシ是等ノ物ヲ窮餒ノ者ニ
與フレバ。恩惠ノ一端ナルベシ。勸善訓蒙

○凡女子タル者ハ。先身ヲ立ツルヲ學ブ。身ヲ立ツルノ法ハ。惟清貞ヲ務ム。清ナレバ則身潔ク。貞ナレバ則身榮フ。宋若昭ノ女論語

○私語ヲ談セズ。淫音ヲ聽カズ。黄昏來往スルニハ。燭ヲ秉リ。燈ヲ掌ル。暗中ニ出入スルハ。女ノ經ニ非ズ。一行失フコアレバ。百行成ルコナシ。同上
○家ヲ營ムノ女ハ。惟儉惟勤。勤ムルキハ家起リ。懶ナルキハ家傾ク。儉ナルキハ家富ミ。奢ルキハ家貧シ。同上

○幽閒貞靜。節ヲ守リテ整齊。已ヲ行フニ恥アリ。

動靜法アリ。是ヲ婦德ト謂フ。詞ヲ擇ンデ說キ。惡語ヲ道ハズ。時アリテ然ル後ニ言ヒ。人ニ厭ハレズ。是ヲ婦言ト謂フ。曹大家女誡

○抑女子ノ失德ニ由テ生ズル所ノ弊害ハ。其緒一端ニシテ足ラズ。苟此大綱ナル守防操節一タビ弛弛縦スルキハ。人心忽敗壞シテ復救フベカラズ。其禍害之ヨリ大ナルハナシ。萬法精理

○女の容よりも心の勝をたるを善とすべし。心をよしあき女の心騒しく。眼恐ろしと見出し。人を怒り。言辭あらうあふ。物言ひさうのあふ口

まゝて人よ先だち人を恨み嫉む。我身よ誇り。人を
 謗り笑ひ。それ人よ勝る貌あるは。皆女の道よ
 違ふあり。女は惟和らぎ順ひ。貞心よ情け深
 と静あるをよしと。女大學
 ○男子ノ行事ハ。或ハ愛ヲ離レテ可ナルコアリ
 婦人ニ至リテハ。生涯ノ行事決シテ愛ノ一字ヲ
 離ルベカラズ。貴女德斯低爾

小學脩身訓上終

定價金八錢

明治十三年十一月 御届
 年十一月廿六日出版

定價金八錢

翻刻出版人

静岡縣士族

米山定昌

駿河國安倍郡静岡江川町五番地

同 平民

廣瀬市藏

同 有渡郡静岡江川町士番地

發兌書肆

同	靜岡大森弘三郎	同	三浦定吉
同	勝見儀助	同	吉見義次
同	管谷跡五郎	同	佐藤俊平
同	青木榮次郎	同	中川清一

小學脩身訓

波號

卷下

節 面 架 號	大日本教育會圖書館			
	室	二	第	
	二	五七八九	二	四函
	架	號		

K110.1
130
2